

第5回皐月杯報告

2014年5月18日（日）、朝からの絶好のラグビー日和のもと、「第5回皐月杯」が京都市立西陵中学校グラウンドにて開催されました。皐月杯は、『みんなが主役』を合言葉に、普段、出場機会の少ない生徒や、部員不足などにより単独チームでの公式戦出場ができない生徒の活躍の場として、4年前より京都府中体連ラグビー専門部が開催している少人数制の大会です。

今大会は17校・1クラブチームの26チーム、計246名（女子16名）の参加となりました。普段合同チームの3校が単独チームでの出場となり、女子は初めて女子のみのリーグを編成し、その中には滋賀県からの女子も参加という本大会初めての試みもありました。試合は、午前の部（4チーム×3リーグ）と午後の部（4チーム×3リーグ、女子2チーム×1リーグ）に分かれ、1試合12分、コートは通常の半分程度の広さで行われます。

試合は、12人制に勝るとも劣らないコンタクトの激しさや力強いタックルが見られ、会場を沸かせました。一方で、それを切り開くべく少人数制ならではのスペースをつくアタックや堅実なサポートプレーがトライにつながり、スピーディーかつアグレッシブな試合が繰り広げられました。同時期に開催されている春季大会では合同チームの学校が、シード校に競り勝つ試合があったり、今回初めて女子リーグに参加した滋賀県瀬田北中のからの生徒も、思い切りのいいランプレイやパスを見せたり、観戦していた保護者やチームメイトからは、どの試合も大きな声援が送られました。

閉会式では、各リーグの「最優秀賞」「優秀賞」「敢闘賞」「努力賞」の表彰が行われ、全チームに賞状が授与されました。また、各リーグで特に活躍した選手には、「ドリーム賞（ドリームセブン）」と称して、記念Tシャツが贈られました（女子リーグのドリーム賞は本専門部普及育成部で活躍され、女子選手の憧れであった故・田中智絵先生のこれまでのご尽力に敬意を表し、「田中賞」と名付け、女子選手への激励の思いを込めています。）。

この大会は、ラグビーをプレーする全ての中学生のための大会です。大会を通して、ラグビーの魅力を再発見し、もっとラグビーを好きになり、今後の人生の中のいろんな場面でこの経験を活かしてくれることを期待しています。『みんなが主役』の皐月杯、来年もたくさんの中学生の活躍の場となることを、楽しみにしています。

京都府中体連ラグビー専門部
普及育成部



開会式での競技説明



素早い展開



激しいコンタクト直前



女子リーグも開催



スペースを使ったアタック



ラックからのパスアウト



チームメートも応援します。



全チームに賞状が授与されました。